

県下の交通事故 (6月26日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
平成1年	2,424件	56人	3,195人
平成2年	2,261件	45人	2,948人
比較	-6.7%	-19.6%	-7.7%



第88号

発行所  
〒400 甲府市丸の内一丁目9-11  
県民会館2階  
財団法人 山梨県交通安全協会  
TEL 甲府 (0552) 32-4682  
(0552) 37-7827



一にも二にも安全を確かめて

夏の交通事故防止県民運動

7月21日(土)～8月31日(金)

ふれあいとゆとりでつなごう

無事故の輪

夏は行楽シーズンと児童・生徒の夏休みが重なり、季節的に交通事故の多発、暴走族の活動激化が予想されます。このため県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止及び暴走族追放の徹底を図ることを目的として、夏の交通事故防止県民運動が実施されます。県交通安全対策本部が決めた主な実施事項は次のとおりです。

交通安全は家庭と

職場と地域から

- 運動の重点
- 1、暴走族追放運動の推進
  - 2、運転者(特に若者)の安全運転の徹底
  - 3、子供と高齢者の交通安全
  - 4、シートベルト・ヘルメット着用徹底
- 地域ぐるみで暴走族を追放しよう
- ・暴走行為を見たら、まず一〇番に通報しましょう。

暴走しない・暴走させない・暴走を許さないの三原則をみんなの力で守りましょう。

不正に改造した車等整備不良の車を追放しましょう。

運転者(特に若い運転者)は安全運転に徹し、スピードは控え目に、いつも安全速度を。



安全のために

過日の県交通安全協会(以下協会)の総会において役員改選が行われ、その際、勇退された塩川光男氏の後任として専務理事の重責を担うことになりました。抜群の力量をもって多くの実績をあげられた前任者に心から敬意と感謝を申し上げます。浅学非才の私ではありますが、誠心誠意その責任を果たしたいと思っております。ご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

☆さる五月十四日、交通関係の皆様のご協力により、県安協創立六十五周年・法人設立二十周年の記念大会を、来賓各位のご臨席をえて約五百名の方々のご出席のもと盛況のうちに開催することができました。また、県安協の長い歩みを綴った「沿革と現状」と題する協会史を編集発行し、ボランティア活動によ

り、ひたすら交通事故ゼロをめざして歩みつづけた先輩、同僚の皆様のご活躍の一端を紹介することができ、安協・中村太郎会長をはじめ役員一同、これをひたつた節目として、これに今後の安全活動の指針とし、その発展のため尽力することを決意した次第です。

☆平成元年中は、全国で

交通事故により一万一千八百六十人もの尊い人命が失われ、昭和三十五年以降最悪の記録となりました。十三年ぶりに一万人を突破した一昨(去年)年をさらに上回り、まさに第二次交通戦争とまで言われる厳しい情勢になりました。

昨年十一月には交通事故死者数の増加に歯止めをかけるために、交通の場にかかわ

交通安全の生涯教育

山梨県交通安全協会  
専務理事 金谷 信雄



とくに、若年運転者のスピードの出し過ぎなど無謀運転による死亡事故や高齢者の被害事故が目立っています。運転者として守るべき基本的ルールを守らず、交通マナーの欠けにより、あつてはならない交通事故がしばしば発生しています。

交通安全を実現するためには、交通の場にかかわ

い、正しい交通ルールとマナーを身につけて、中高年齢者に至るまでこれを徹底していくことが大切ではないでしょうか。

☆運輸省は、さる六月八日最高時速五百五十キロが目指すリニアモーターカー(超電導磁気浮上式鉄道)新実験線のルートを境川村から秋山村に抜ける全長四

二・八キロと決定し公表しました。県はこれを了承して全面協力していく方針を決め、超高速運転の実用化を目指した二十一世紀の夢の超特急が、その実現に向けて一歩を踏み出すことになったと言えましょう。

これがリニア中央エクスプレスへと進展したとき、経済活動の活性化をはじめ大きな転換と発展が期待されます。

一方、新しい時代を迎えるにあたっては、都市計画、地価対策など緊急な問題があり、適切な対応が求められることでしょう。さらには、営業線ルートと駅に隣接する新しい交通体系が真剣に検討されなければならぬものと思えます。

路線バス、モノレール等公共輸送機関の整備と活用、また、新しい道路網の整備など、抜本的な施策を、実行していくことにより、安全で快適な交通環境の実現をのぞみたいものです。

しない・させない・違法駐車



ぬれた路面でのスピードの出し過ぎ

シートベルト・ヘルメットは正しく着用しよう

運転する人も同乗する人も、必ずシートベルトをつけよう

バイクに乗る時も必ずヘルメットをかぶろう

二輪・原付の講習強化

県二輪車安全運転推進委員会(塩川光男委員長)では、五月二日、ニュー機山で関係者二十名が出席して委員・幹事合同会議を開きました。新委員・幹事を委嘱した後、平成二年度事業計画を審議決定するとともに、高校生・二輪車安全運転講習、原付技能講習、指導員講習等について協議し、各種講習の内容、方法等に検討を加え、さらに充実強化して交通事故防止に努めることを決めました。



本欄の担当者  
が替わりました。  
K専務からSに  
なりましたので  
よろしくお願ひ  
します。とはい  
うものの浅学非  
才で筆不精とき  
も責任が全うで  
きるか? マーク  
です。まあ、そ  
れなりに誠意も  
って頑張ること  
をお誓ひし、執  
筆者交替のご  
あいさつといた  
します。さて本  
年は、県安協  
創立六十五周年  
、財団法人とな  
って二十周年の  
記念すべき年  
にあたり、去る  
五月十四日には  
、甲府・富士屋  
ホテルで盛大に  
記念大会を開催  
し、また記念行  
事の日玉として  
記念誌を発行し  
ました。記念誌  
につきましては  
、短時間で、し  
かも資料不足の  
なかで仕上げた  
ためお恥ずかし  
い出来ですが、  
力不足を関係者  
の熱意でカバー  
しながら編集し  
ました。ところで  
編集作業の過程  
で改めて「日本語」  
の難しさ、「文字」  
の重要さを痛感  
させられました。  
次の例をご覧ください。

○的ー○敵  
向上ー工場  
結果ー欠課  
教習ー郷魁  
協会ー巨魁  
甲府市ー甲府氏  
資産ー審査  
恒例ー高齢  
等ですが、これは原稿校正の際に目にとまった誤り(下段)です。出題に対してワープロ的な間違いでしようが、それにも「郷魁・巨魁」には参りません。漢字離れの風潮とはいえ、われわれ日本人であり、日本語を使う以上、正しい意味を伝える正しい文字を使うことが大切なことだと思います。

以前、昇任試験の答案を採点したときにも同じような思いをさせられたことがありました。

と申します私も、これから本欄を担当していく過程で過ちなきにも非ず、皆さんの叱責を受けることにもなりかねませんが、過ちないよう努力しますが、皆さんのご助言をよろしくお願ひします。

# 中村会長を再選

## 県安協定期総会開く

県交通安全協会(中村太郎会長)は六月二日、甲府市・古名屋別館で、平成二



平成2年度県安協定期総会

年度定期総会を開きました。役員全員が出席し、中村会

長が、交通死亡事故抑止のため安全活動に積極的に尽力するよう要請して議事に入り、平成元年度の事業報告と決算報告を審議して全員一致で承認しました。

このあと、任期満了に伴う役員改選を行い、全会一致で中村会長の再選を決めました。また、高野慶貴・堀内益信・萩原茂賀各副会長の退任に伴い、柳沢武史・山下道男副会長の留任と向井菊蔵・奥石政雄理事の副会長就任を決めました。

また堀川光男専務理事の退任に伴い、金谷信雄常務理事を専務理事に、中島健治理事と酒井澄男事務局長を常務理事に決定しました。さらに秋山登監事の理事就任に伴い、窪田亮治評議員の監事就任を決めました。

役員改選後、永年、安協の育成発展に尽力された高野慶貴・堀内益信・萩原茂賀・堀川光男の各氏に対し、県警本部長と県安協会長から感謝状を、さらに堀川氏には全日本交通安全協会長から表彰状と銀盃を、ま

た前評議員の谷内秀春氏に本部長・会長連名の感謝状を贈ってその功績をたたえました。続いて、鶴田県警交通部長から本年の交通事故発生状況と死亡事故の特徴などの説明を受け安協の組織をあげて事故防止に取組むことを誓い合いました。

事務局 採用(四月一日付) 書記 遠藤 綾子 配置替(六月一日付) 安全運転学校庶務課長から経理部長へ 土屋 一雄 道路使用適正化センター庶務係から庶務課長へ 大柴 五穂 退職(五月三十一日付) 庶務課長 穴水 剛一 経理課長 坂本 勇 兼務解除(四月二日付) 安全運転学校校長の兼務を解く 事務局長 酒井 澄男 安全運転学校 採用(四月二日付) 校長 奈良田幸夫 嘱託講師 興石 二男 (六月一日付) 嘱託講師 塚田 岳夫

## 県安協 人事異動

### 人事異動

事務局 採用(四月一日付) 書記 遠藤 綾子 配置替(六月一日付) 安全運転学校庶務課長から経理部長へ 土屋 一雄 道路使用適正化センター庶務係から庶務課長へ 大柴 五穂 退職(五月三十一日付) 庶務課長 穴水 剛一 経理課長 坂本 勇 兼務解除(四月二日付) 安全運転学校校長の兼務を解く 事務局長 酒井 澄男 安全運転学校 採用(四月二日付) 校長 奈良田幸夫 嘱託講師 興石 二男 (六月一日付) 嘱託講師 塚田 岳夫

事務局長 酒井 澄男 安全運転学校 採用(四月二日付) 校長 奈良田幸夫 嘱託講師 興石 二男 (六月一日付) 嘱託講師 塚田 岳夫



晴れの受賞者の喜びの表情

## 晴れの関東管区表彰

### 富士吉田安協と小沢氏ら12名

関東管区交通安全協会連合会(武田豊会長)の平成二年度定期総会は、五月十日、東京農林年金会館で開かれ、平成元年度の事業報告・決算報告と平成二年度事業計画・歳入歳出予算等を審議したが、総会に先立って交通安全功労者・優良交通安全協会・優秀交通安全功労者表彰が行われました。

本県関係の受賞者(協会)は次のとおりです。なお、功労者の夫人も出席し、内助の功により管区安協会長から感謝状を贈られました。

○関東管区警察局長・関東管区交通安全協会連合会長 表彰 (交通安全功労者) 清水清富(甲府) 大森松男(南甲府) 相澤誠治(小笠原) 小澤友重(韮崎) 齊木誠(長坂) 長澤由弘(諏訪) 依田倉蔵(南部) 三森正光(塩山) 梶原竜雄(富士吉田) 熊谷孝子(塩山) (優良交通安全協会) 富士吉田交通安全協会 (渡辺都留夫会長) ○関東管区交通安全協会連合会長表彰 (優良職員) 鈴木一夫(県安全運転学校) 佐藤憲子(県安協事務局)

○交通安全功労者 清水清富(甲府) 大森松男(南甲府) 相澤誠治(小笠原) 小澤友重(韮崎) 齊木誠(長坂) 長澤由弘(諏訪) 依田倉蔵(南部) 三森正光(塩山) 梶原竜雄(富士吉田) 熊谷孝子(塩山) (優良交通安全協会) 富士吉田交通安全協会 (渡辺都留夫会長) ○関東管区交通安全協会連合会長表彰 (優良職員) 鈴木一夫(県安全運転学校) 佐藤憲子(県安協事務局)

○交通安全功労者 清水清富(甲府) 大森松男(南甲府) 相澤誠治(小笠原) 小澤友重(韮崎) 齊木誠(長坂) 長澤由弘(諏訪) 依田倉蔵(南部) 三森正光(塩山) 梶原竜雄(富士吉田) 熊谷孝子(塩山) (優良交通安全協会) 富士吉田交通安全協会 (渡辺都留夫会長) ○関東管区交通安全協会連合会長表彰 (優良職員) 鈴木一夫(県安全運転学校) 佐藤憲子(県安協事務局)

## 山梨県交通安全協会 平成元年度事業報告

一、交通安全運動の実施  
四月六日～十五日 春の全国交通安全運動  
さいり羽根・ポスト・ビラ・リーフレット・安協ニュース・新入学児童用腕章・同チラシ等配布、映画フィルム購入貸出し。  
七月二十一日～八月三十一日 夏の交通事故防止県民運動  
九月十一日～二十日 高齢者交通安全旬間  
九月二十一日～三十日 秋の全国交通安全運動  
春の交通安全運動に準じて実施  
十二月十日～一月十日 年末年始の交通事故防止県民運動  
二、交通安全功労者・優良運転者等の表彰  
五月十九日 関東管区安協連表彰 功労者十八人、団体一、優良職員二人  
十一月十七日 県安協表彰 管区表彰伝達(団体一、優良運転者十一人、緑十字銅章百一十一人、優良安協員一人)  
八月五日～六日 二輪車安全運転転転大会  
五月十一日 県安協交通安全推進委員会、幹事合同会議  
四月二十三日 二輪車安全運転転転大会  
五月一日 県安協交通安全推進委員会、幹事合同会議  
八月九日～十日 交通安全子ども自転車全大会  
八月九日～十日 交通安全子ども自転車全大会  
四月間 交通安全教室実施  
四月間 交通安全啓蒙宣伝活動  
十月九日 交通安全写真コンテスト  
十一月二十五日 中学生交通安全弁論大会  
四月間 交通安全推進委員会、理事・評議員合同会議  
五月二十七日、七月十九日、三月二十四日 県安協常任理事会、理事・評議員合同会議  
十一月三十日 県安協ブロック会議  
十二月一日 郡内安協ブロック会議  
十二月六日 峡西北安協ブロック会議

三、二輪車および自転車の安全対策の推進  
四月二十三日 二輪車安全運転転転大会  
五月一日 県安協交通安全推進委員会、幹事合同会議  
八月五日～六日 二輪車安全運転転転大会  
五月十一日 県安協交通安全推進委員会、幹事合同会議  
四月二十三日 二輪車安全運転転転大会  
五月一日 県安協交通安全推進委員会、幹事合同会議  
八月九日～十日 交通安全子ども自転車全大会  
八月九日～十日 交通安全子ども自転車全大会  
四月間 交通安全教室実施  
四月間 交通安全啓蒙宣伝活動  
十月九日 交通安全写真コンテスト  
十一月二十五日 中学生交通安全弁論大会  
四月間 交通安全推進委員会、理事・評議員合同会議  
五月二十七日、七月十九日、三月二十四日 県安協常任理事会、理事・評議員合同会議  
十一月三十日 県安協ブロック会議  
十二月一日 郡内安協ブロック会議  
十二月六日 峡西北安協ブロック会議

四、交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動

五、交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動

六、交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施

七、交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施

八、交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施

九、交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施

十、交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施

十一、交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施

十二、交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施  
交通安全啓蒙宣伝活動  
交通安全写真コンテスト  
交通安全教室実施

★改装した新しい広いコースで、  
全車種(普通、自二、けん引、大特、二種免許)の免許取得を!  
早朝、夕方、日曜その他生活条件に合わせた教習を!

財団法人  
山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島 1828  
TEL (0552) 85-0752

交通安全功労者表彰式  
主催 関東管区交通安全協会連合会

晴れの受賞者の喜びの表情

交通安全功労者表彰式  
主催 関東管区交通安全協会連合会

晴れの受賞者の喜びの表情

交通安全功労者表彰式  
主催 関東管区交通安全協会連合会

晴れの受賞者の喜びの表情

交通安全功労者表彰式  
主催 関東管区交通安全協会連合会

晴れの受賞者の喜びの表情

交通安全功労者表彰式  
主催 関東管区交通安全協会連合会

晴れの受賞者の喜びの表情

交通安全功労者表彰式  
主催 関東管区交通安全協会連合会

晴れの受賞者の喜びの表情



愛しい幼な子を事故から守るために

# 4人に1人は助かった

死者一七人中、シートベルトの着用義務者は六二人、このうち着用者は一七人で、着用率は二七・四％。残り四五人のうち着用して助かったとみられる人が三〇人いたという事です。この三〇人は、車外に投げ出されて死亡した人が一五人、ハンドル、フロントガラス等に胸部、頭部を打ちつけて死亡した人が一五人となっています。

死者一七人中、シートベルトの着用義務者は六二人、このうち着用者は一七人で、着用率は二七・四％。残り四五人のうち着用して助かったとみられる人が三〇人いたという事です。この三〇人は、車外に投げ出されて死亡した人が一五人、ハンドル、フロントガラス等に胸部、頭部を打ちつけて死亡した人が一五人となっています。

## シートベルト

県警では、五月二十五日から二十七日までの三日間、県内の国道(四路線)県道(二路線)高速道路でシートベルト着用状況の調査を行いました。

調査結果については、別表のとおりで、次のような特徴があげられています。

- (1) 一般道路の着用率は約四割(三九・四%)であるのに対し、高速道路は約八割(八二・五%)である。
- (2) 一般道路においては、若い女性の着用率が特に低い。
- (3) 通過交通路線における着用率が低い。
- (4) 観光道路における着用率は比較的高い。
- (5) 高速道路においては、若者(二〇～三〇歳)の着用率が低い。

### シートベルト着用調査

区 道 路 別	乗 用 車		ト ラ ッ ク		合 計	
	調査台数	着用台数 着用率	調査台数	着用台数 着用率	調査台数	着用台数 着用率
一般道路	1,571	662 42.1	229	47 20.5	1,800	709 39.4
高速道路	519	432 83.2	81	63 77.8	600	495 82.5
計	2,090	1,094 52.3	310	110 35.5	2,400	1,204 50.2

#### シートベルト非着用 の死亡事故事例

- 1、平成元年一〇月 普通乗用 車単独 二二歳 (男性)  
降雨中の高速道路を時速約一四〇キロで進行中、濡れた路面で後輪がスリップし、左側ガードレールに衝突、その衝撃でドアが開放、車外に投げ出されて死亡した。
- 2、平成元年一月 普通乗用 車単独 二〇歳 (男性)  
時速八〇キロで進行中、ハンドル操作を誤り道路右側の土手下(高さ約四メートル)に転落し、車外に投げ出され、車の下敷きになり死亡した。
- 3、平成元年二月 普通乗用 車両相互 四一歳 (男性)  
赤点減点を無視して交差点に進出したため出合頭に衝突し、車外に投げ出されて死亡した。
- 4、自動車が行進中、衝突や急ブレーキをかけた場合、慣性の法則で人が前にのめり、あるいは投げ出されて死傷することが多い。
- 5、なお子どもを前部座席に乗せることは、子どもにとって危険であり、また運転の支障となります。後部座席に乗せて、補助



装置(座席にベルトで固定する)を使用しよう。シートベルトの着用により死傷者数を減少させることは可能なのであります。

## あなたも写真を

### 第24回交通安全写真コンテスト募集要綱

県安協では県警本部等の後援で第二十四回交通安全写真コンテストの募集を、次のとおり行います。

◆趣旨  
交通安全の写真を通じて、交通安全に対する理解を高めるとともに、交通安全の啓蒙を図ることを目的とする。

◆募集期間  
平成二年八月十五日

## 県安協

### 記念大会と記念誌発行 創立65周年を祝う 法人設立20周年を祝う

県安協では、創立六十五年、財団法人設立二十周年を迎え、記念行事として記念大会の開催と、安協の沿革と現状を綴った記念誌を発行し、記念すべき年を祝いました。

○記念大会の開催  
五月十四日午後一時三十分から、甲府・富士屋ホテルで、望月幸明県知事・白倉政司県議会議長・永見東吾県警察本部長・国島文彦全日本交通安全協会副会長ほか来賓多数のご臨席と会

○記念誌の発行  
「財団法人山梨県交通安全協会」その沿革と現状」と題して、B5版三百五十七ページの記念誌を一千部作成し、関係者に広く頒布しました。



盛大に開催された記念大会

## 精鋭72人が腕競う

### 二輪車安全運転 山梨県大会開く

初夏の快晴に恵まれた六月三日(日)、八田村免許センターで、腕に自慢のライダー七十二名が参加して、第二十七回二輪車安全運転大会が開催されました。

十六歳から三十歳までの発刺とした若者が、法規走行と技能走行に技を競い盛り況裡に終了しました。入賞者は次のとおりですが、優勝者は八月四、五の両日、鈴鹿サーキットで行われる全国大会に本県代表選



腕自慢のライダー安全運転を競う



記念誌「県安協—その沿革と現状—」

- 高校生クラス(二二五C) 小沢 由紀
- 以下(のもの) C 石原 雅樹
- 優優勝 倉田 邦人
- 準優勝 大野 芳樹
- 五位 田中 直弥
- 四位 水上 貞治
- 三位 佐野 克也
- 二位 飯田 匡史
- 一位 桜井 陽一
- 二位 齊藤 朋之
- 三位 野中 明良
- 四位 野中 明良
- 五位 野中 明良
- 六位 野中 明良
- 七位 野中 明良
- 八位 野中 明良
- 九位 野中 明良
- 十位 野中 明良
- 優優勝 坂本 栄樹
- 準優勝 倉野 宏次
- 四位 後藤 文英
- 五位 小山 晃広

- ◆送付先 甲府市丸の内一丁目九十一(千四〇〇)
- ◆発表 平成二年九月中旬
- ◆審査員 主催者、後援者の委員および主催者の委嘱する写真専門家
- ◆賞 最優秀賞一名、賞状、賞金二万円
- ◆優賞 四名、賞状、賞金一万円
- ◆優賞 四名、賞状、賞金七千円
- ◆銅賞七名、賞状、賞金五千円
- ◆佳作若干名、賞金三千円
- ◆応募規定 ①応募作品は未発表のもの、他に発表予定のないものに限り、撮影の時期は問わない。
- ②応募作品には必ずネガを添付すること。ネガのないものは入賞することはできない。
- ③応募作品およびネガは返却しない。
- ④応募作品の著作権は主催者に属する。
- ◆主催 財団法人山梨県交通安全協会
- ◆後援 山梨県警察本部、山梨日日新聞社、山梨県交通安全母の会連合会

# 春の交通安全運動

## ◇各地区安協の活躍◇



街頭指導所

—南甲府—



少年交通安全リーダー委嘱式、明野小にて

—葦崎—



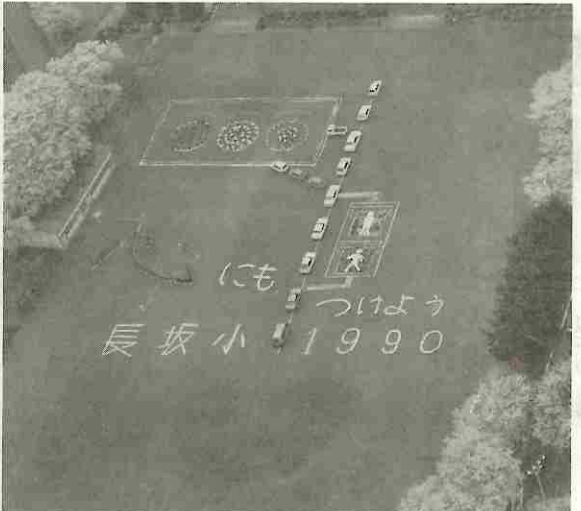
「世界にとどけ富士五湖からの願い交通安全」風船あげ

—富士吉田—



安全運動初日、街頭啓発活動出発式

—甲府—



交通安全人文学

—長坂—

春の交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間、全国一斉に行われ、県内でも、事故増勢に歯止めをかけ、ことしこそ事故減少を願い運動に取り組みました。

期間中の県下の交通事故は、発生八十件、死者一人、傷者八十八人で、前年同期に比べ、死者は同数でしたが、件数、傷者数は大幅に減少しました。

県警は、今回の運動推進にあたっての良好点・反省点を次のように分析しています。

○良好点

1、県、市町村、交通関係団体との連携が図られ、これら団体が活発な活動を行い各種運動の盛り上がりが見られた。

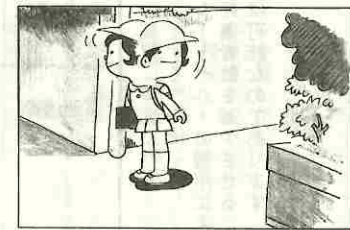
2、交通事故の発生状況に即し、子供・若者・高齢者等に対する重点的な施策が実施された。

3、アイデアのある多彩な行事のほか、関係団体の協力により、手づくりマスコット等の配布などドライブ等に喜ばれる啓発活動が展開された。

○反省点

1、諸行事や交通指導取締りに重点をおいたため、街頭監視活動がやや欠けた面がみられた。

2、今回の交通安全運動期間中のシートベルト着用指導取締りによって着用率の向上が図れたが、さらに強力な指導取締りを推進し定着化を図る必要



とまってまわりをよくみる

がある。

きびしい交通情勢のなかで地道な活動を続けることにより安全な社会づくりが実現できるものと期待される。運動期間中の各地区の活動をご紹介します。



安全は出せるスピード 出さない勇気

じお

新規購入 映画の紹介

一、あなたの会社は大丈夫ですか

—交通事故の企業責任と安全運転管理—

16ミリ、カラー、24分 企業・一般向

交通事故が増加している中で、事故を防止するための企業の社会的責任は重要です。

この映画は、交通事故事例を通して企業の責任の重さと損害の大きさを紹介し、また、事故が起きた場合の対処の仕方を運転者に指導すべき点と安全運転管理者

の交通事故防止への活動の手掛りを教えています。

安協から対課へ

「山梨県交通安全母の会連合会」の事務につきましては、今度安協事務局で担当してまいりましたが、平成二年四月二十七日から山梨県民生活局交通対策課で担当していただくことになりました。なお、各地区従来どおり各警察署に事務局が置かれ、事務を担当することになっていきます。



安全運動初日、一日警察署長松姫を交えて

—甲府—



高齢者の交通安全をねがって

—塩山—



安協婦人部初心運転者訪問、安全運転をうたえる

—都留—



4月11日R139号線上に於いて実施されたレター作戦の状況

—大月—



双葉町交通安全大会

—葦崎—



4月9日、署前庭にて実施された交通安全祈願祭

—大月—

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう。

損害保険代理店

株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13  
日東ビル4階  
TEL 0552-28-0691